

## 官民連携プラットフォーム 活用事例②


タイトル: 公民共創コーディネート業務の実証実験(担当課: 政策企画課)

### ■課題のポイント

目指す未来	<ul style="list-style-type: none"><li>各課の課題解決に向けて、効率的かつ持続可能な官民連携プラットフォームの運用を行いたい!</li></ul>
現状	<ul style="list-style-type: none"><li>昨年10月から運用を開始しているが、実施に至る件数がまだ少ない。</li><li>提示している課題のうち、一度も提案をもらえていない課題が多い。</li></ul>
解決したい課題	<ul style="list-style-type: none"><li>本市が提示する課題の解決に向けたノウハウ等を有する企業に積極的にアプローチしていく必要がある。</li><li>また、本市の提示する課題を多くの企業に周知していく必要がある。</li></ul>

### ■実施事業(実証実験)のポイント

提案企業	株式会社地方創生テクノロジーラボ(本社: 東京都)
取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>専属のコーディネーターを配置し、課題解決に即したノウハウ等を有する企業のリサーチ及びアプローチを実施。</li><li>企業との面談調整、面談ファシリテート、提案コーディネートの実施。</li><li>また、幅広く本市の課題を周知するため、直接本市の課題を企業に発信するオンラインイベントの開催。</li></ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"><li>企業からの提案件数: 24件(当初目標: 5件)</li><li>企業とのマッチング件数: 15件(当初目標: 4件)</li><li>事業化の検討(予算要求含む): 6件(当初目標: 2件)</li></ul>
担当者の声	<ul style="list-style-type: none"><li>事業化の検討に至らなかったケースでも「企業との意見交換を通じて、今後の進め方のイメージが湧いた」「これまで関わりのなかった企業との関係性を築くことができた」等の声を伺っており、事業化検討も含め、効果があったものと考えている。</li><li>引き続き、担当課の課題解決の一助となるような取組を展開していきたい。</li></ul>



あなたとわくわく  
マグマシティ  
鹿児島市

鹿児島市の地域課題解決に  
ご協力いただける企業を求めています

マグマシティ鹿児島市で  
“わくわく”する未来を共に作りませんか?

# KAGOSHIMA CITY